TECH CIRCUS 2026

体験しよう，教科書にない“未来”。
触れてみよう，起業家達の“熱意”。



令和8年度事業　中間報告

仙台市 地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業(協働実践助成)

令和8年10月29日(木) 第1回検討会【2日目】/ TECH CIRCUS 2026 実行委員会

事業の概要

プレイベント3回とメインイベント1日を実施し, のべ120名が参加した。

参加者数(のべ)

120 名

プレイベント3回と
メインイベント1日の合計

12社
体験ブースに出展

7名
トークに登壇

6+11
協賛·後援

43件
アンケート回答

プレイベント
Pre-event

PHASE 1(実施済)

計画:8/1·8/8·8/22

実績:7/29·7/30·8/22に実施

メインイベント
Main event

PHASE 2(実施済)

計画:8月29日(土)

実績:9月6日(日)に変更して実施

アフター·交流
After event

PHASE 3(予定)

計画:SNSで交流を続ける

現状:LINEで運用中, 10月にイベント予定

事業名	TECH CIRCUS 2026(青葉山エリアの賑わい創出)
実施団体名	TECH CIRCUS 2026 実行委員会
実施期間	令和8年4月～令和9年3月
会場	青葉山公園 仙臺緑彩館
対象	中学生·高校生(参加無料)/参加者は高校生70%·中学生30%
助成種別	協働実践助成(令和8年度 新規採択)

実施団体

3社で実行委員会をつくり, 運営·教育·起業家との連携を分担した。

運営

日本コンベンションサービス㈱ 東北支社

場の質

イベントの企画·運営, 予算管理, 安全管理, 広報を担当

- 医療体験イベント「オペスル」(東京·神戸)
- プログラミング体験「アルゴガーデン」

教育プログラム

株式会社オーナー

コンテンツの質

教育プログラムの設計, ワークショップの監修, 学校との調整を担当

- 福島県教育委員会の探究学習教材を制作
- 常盤木学園高校で起業家教育の授業を実施

起業家との連携

エンスペース株式会社

人の質

起業家の招へい, 出展企業の募集, 学生メンターの調整を担当

- 仙台駅前の社会実験「MOVE MOVE」を調整
- 仙台まちづくり若者ラボで学生を指導

協賛·後援 (申請時の計画にはなかった支援)

協賛 6社	NExTeens実行委員会, 石井ビル管理, 七十七銀行, 藤崎, 前田建設, ユーメディア
後援 11団体	宮城県, 仙台市, 宮城県教育委員会, 仙台市教育委員会, 宮城大学, 河北新報社, tbc東北放送, 仙台放送, 宮城テレビ, khb東日本放送, エフエム仙台

課題と目的

3つの課題に対して4つの目的を設定し, 仙台で起業する若者を増やす。

解決したい課題



青葉山の研究が若者に知られていない

先端研究が集まる一方, 若者は青葉山を自分と関係のない場所と考えている



若者が県外へ流出している

仙台の先端技術を知る機会がなく, 挑戦するなら東京と考える若者が多い



中高生向けの機会が少ない

中高生が起業家と話したり, 起業を体験したりするプログラムが市内に少ない

事業の目的

GOAL 1

青葉山の価値を伝える

青葉山を「未来を考える場所」として若者に知ってもらう

GOAL 2

技術と起業家にふれる

中高生が地元の先端技術と起業家に直接ふれる機会をつくる

GOAL 3

考える力を育てる

自分で問いを立て, 解決策を考える力を育てる

GOAL 4

協働の体制をつくる

3社の協働で, 地域全体で若者を育てる体制をつくる

目指す姿

仙台で事業を起こす若者が増え,「仙台での起業」が進路の選択肢として当たり前になる地域

(申請書に記載した目指す姿)

目標(KPI)

5指標のうち2指標を達成した。意欲は32ポイント上がり，参加者数は目標の80%だった。

未達
のべ参加者数
120名
目標の80%
目標 150名以上

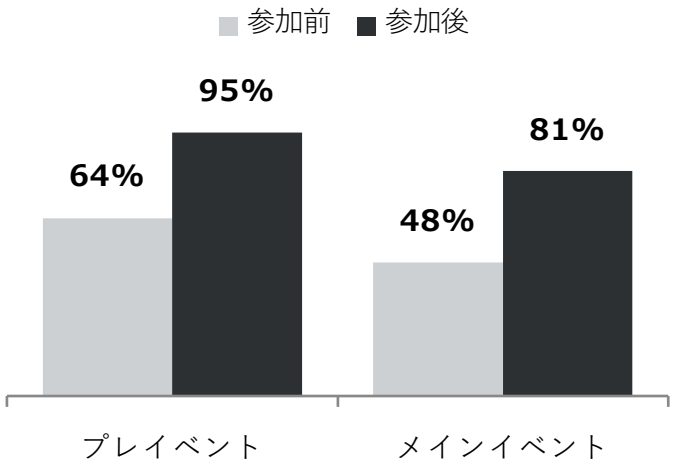
達成
登壇・協力団体数
21団体
ほかに協賛6社・後援11団体
目標 20団体以上

一部未達
参加者満足度
81%
「満足」と答えた割合
目標「とても満足」90%以上

達成
意識の変化
+32ポイント
挑戦したい人が56%→88%
目標 +20ポイント以上

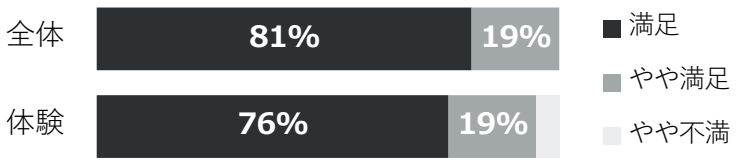
集計中
コミュニティ継続率
集計中
LINEで運用中
目標 1か月後に50%以上

「起業・挑戦したい」と答えた割合(アンケート43件)



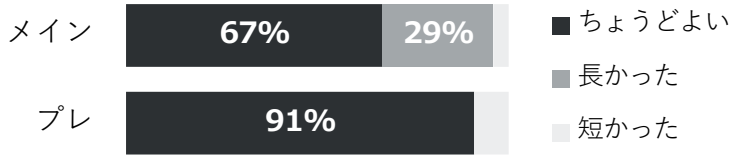
全体
56%→88%
32ポイント上昇
意欲が下がった人は0%

満足度(メインイベント)



不満 0%
全体の満足度で「不満」と答えた人はいなかった

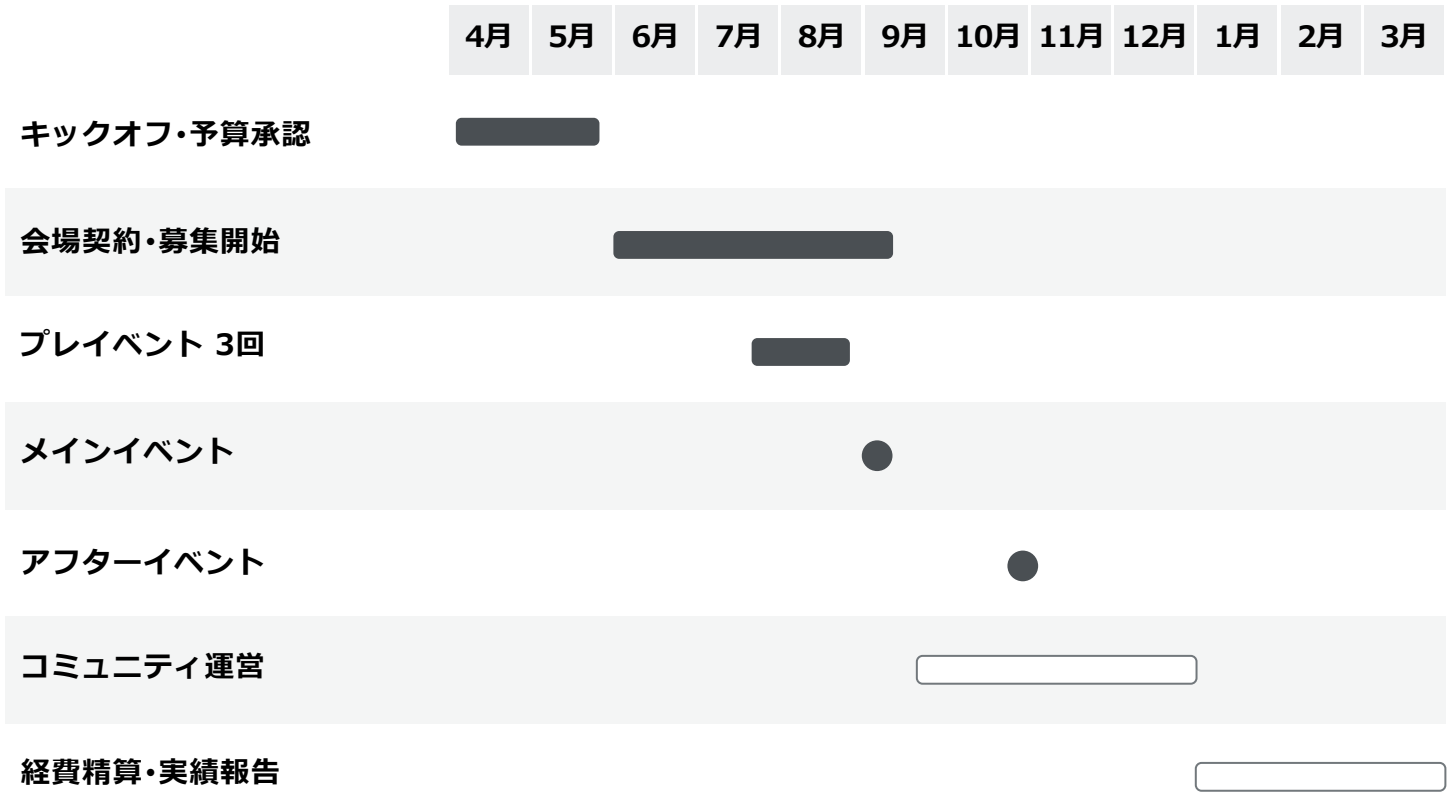
時間の長さ



長かった 29%
メインイベントは時間配分の見直しが必要

スケジュールと経費

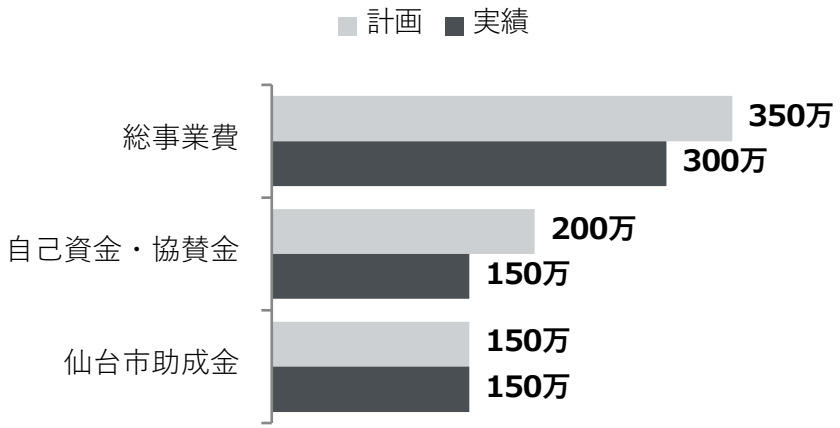
イベントは日程を変更して実施した。総事業費は計画の86%にあたる300万円。



総事業費(実績)

300 万円

計画350万円の86%



収支の内訳(実績・税抜, 円)

収入 助成金 1,363,636 / JCS協力金 913,637 / 協賛金 450,000
支出 事前準備費 1,377,266 / 登壇謝金 550,000 / 制作・広報費 235,450 / 運営人件費 183,650 / 外部委託費 181,536 / 会場費 122,727 / その他 76,643

プレイベント

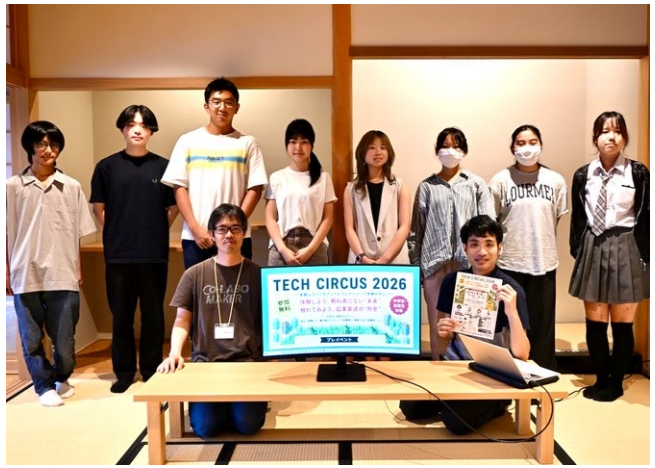
7～8月に3回開催し，毎回定員15名で起業家と中高生が話し合った。

第1回　7月29日(水)



古谷 優貴 氏

㈱Co-LABO MAKER 代表取締役



第2回　7月30日(木)



渡邊 友章 氏

㈱エニバ 代表取締役



第3回　8月22日(土)



伊藤 証 氏

㈱GiverLink 取締役CTO



メインイベント(午前)

開催日　9月6日(日) トーク2本と体験ブース6社を, 申請時の計画どおり実施した。

9:30 受付開始 → 10:00 開会･趣旨説明

10:10



トーク1　古山 隆幸 氏

㈱イトナブ 代表取締役(石巻市でIT人材を育成)

10:40



トーク2　松下 ステファン 悠 氏

東北大学大学院工学研究科 准教授

11:20 **体験ワークショップ**　6ブースを2回ずつ実施

- **A** **㈱Aroma Care Tech**
  アロマ作り(登壇から出展に変更)
- **B** **仙台高専 ロボコン部**
  プログラミングでロボットを動かす
- **C** **㈱マルナニエ**
  爪の役割を学び, 模擬爪を付ける
- **D** **仙台スマートマシーンズ㈱**
  振動で発電しLEDを点灯させる
- **E** **㈱デュナミス**
  生成AIで事業アイデアを考える
- **F** **㈱AILE**
  3m歩くとAIがフレイルを判定する

12:40 昼休憩





メインイベント(午後)

開催日　9月6日(日) 合同トークに代えて2名が登壇し, 午前と別の体験ブース6社を実施した。

13:00 受付開始 → 13:30 開会･趣旨説明

13:40



トーク3　難波 諒太朗 氏

㈱shared 代表取締役CEO(医師, 学習塾を運営)

14:10



トーク4　大草 芳江 氏

NPO法人natural science 理事

14:50 **体験ワークショップ**　6ブースを2回ずつ実施

- **A** ㈱shared — アプリ開発を例に課題発見を学ぶ
- **B** アクアイグニス仙台 — ボードゲームで防災を学ぶ
- **C** ㈱CERCIT — 救急･麻酔のシミュレーターを使う
- **D** ㈱ミューシグナル — 無線で音を送る技術を体験する
- **E** ㈱探Lab — AIを使った経営ゲームで判断する
- **F** 菱光リフト東北㈱ — 模型でエレベーターの仕組みを学ぶ

16:10 クロージング







成果と課題

参加者の意欲と満足度は高かった。次年度は集客と時間配分を改善する。

成果

項目	結果	補足
参加者数	**のべ120名**	プレイベント3回＋メインイベント1日
満足度	**不満0%**	「満足」81%,「やや満足」19%
挑戦したい	**88%**	参加前の56%から32ポイント上昇
地元の見え方	**90%**	「東北に面白い仕事がある」(プレ73%)
協力団体	**21団体**	ほかに協賛6社・後援11団体

課題と次年度の改善

課題	根拠	次年度の改善
時間配分	メインの29%が長いと回答	**時間配分を見直す**
体験の難易度	難易度を上げてほしいとの声	**体験内容と選び方を見直す**
集客	目標150名に対して120名	**集客の方法を増やす**
学校との連携	参加者の56%が学校経由	**学校単位の申込みを受ける**
経費	執行額を集計中	**確定後に資料へ反映する**

今後の予定と展開

時期	取り組み
令和8年10月	アフターイベントを参加者に案内する
令和8年10月	アフターイベントを開催し, 修了証を発行する
令和9年1～3月	経費精算, 実績報告の提出, 次年度計画の作成
次年度以降 (申請書より)	・企業協賛・教材販売・有料ワークショップで運営費をまかなう ・「仙台で未来の技術にふれられる」と全国に知ってもらう

メディア掲載

河北新報オンラインと仙台市市民活動サポートセンターのWebサイトに, 計3件の記事が掲載された



プレイベント　2026年8月17日 掲載

河北新報オンライン

起業家が中高生と対話「挑戦の心意気を」

- 東北の起業家が登壇したプレイベントを紹介
- 起業家と中高生が就職などについて対話



メインイベント　2026年9月19日 掲載

河北新報オンライン

中高生が最新テクノロジーを体験 起業家精神学ぶ

- 県内外から約50人が参加したと報道
- AIプログラミングやロボット操縦の体験を紹介



メインイベント　2026年10月6日 掲載

仙台市市民活動サポートセンター

中高生が最先端テクノロジーに触れる「TECH CIRCUS 2026」

- 午前50人･午後42人(保護者含む)が参加
- 医療･教育･建築･音楽の企業ブースを紹介